

## 報告文献別一覧表(2004/8/1~2004/11/30)

番号	感染症	出典	概要
1	A型肝炎	Journal of Medical Virology, 72(1), 10-16, 2004	A型肝炎ウイルスに感染すると、黄疸出現後490日までウイルスが検出可能であり、ALTとASTは相互及びウイルス量に相関していた。
2	A型肝炎	SCIEH Weekly Report, Vol.37, No.2004/03, Jan. 20 2004	2003年6月より、静注薬物乱用者のA型肝炎感染が13症例報告されている。
3	A型肝炎	SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/04, Jan. 27 2004	グラスゴー刑務所における21歳囚人のA型肝炎感染症例について。
4	A型肝炎	日本ウイルス学会第51回学術集会・総会 演題Ⅱ P017	仙台で2002年7~4月に発症した7件のA型肝炎について、6件が1a型で1件は3a型であった。
5	B型肝炎	Journal of Clinical Virology, 2004, 29(2), 92-94	慢性B型肝炎患者の血清と唾液を用いてHBV DNA濃度を定量した結果、唾液中にHBV伝播能力があることが示唆された。
6	B型肝炎	感染症学雑誌第78回日本感染症学会総会、78(s); 127, Mar. 2004	キャリアの保育士から園児へ感染した事例。原因として保育士及び園児のアトピー性皮膚炎による出血、浸出液の接触等が考えられた。
7	B型肝炎	第35回日本小児感染症学会、16(1); 99, Apr. 2004	キャリアの保育士から園児へ感染した事例。原因として保育士及び園児のアトピー性皮膚炎による出血、浸出液の接触等が考えられた。(前回報告済み)
8	B型肝炎	日本公衆衛生雑誌第62回日本公衆衛生学会総会、50(10S), 837, Oct. 2003	キャリアの保育士から園児へ感染した事例。原因として保育士及び園児のアトピー性皮膚炎による出血、浸出液の接触等が考えられた。
9	B型肝炎、C型肝炎	AABB Weekly Report, Mar. 5 2004	韓国で輸血によりHBVに4人HCVに5人が感染した。
10	B型肝炎、C型肝炎	The Korea Times, 2004/02/26	韓国で輸血によりHBVに4人HCVに5人が感染した。今までにHIVに4人が感染し、マラリアに4人が感染している。
11	B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medical Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
12	B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O, 2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウィンドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。
13	B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、HTLV感染	New England Journal of Medicine, 2004, 351(8), 751-759	アメリカの組織バンクは、組織提供時のスクリーニングでは検出されなかったが、現在HBV、HCV、HIV、HLTV血症を起こしている確率を推定した。組織ドナーへのNAT導入がリスク低減に有効である。
14	C型肝炎	AABB Weekly Report, 2004: 10(16), 1-2	オーストラリア赤十字は、ドナー血液のHCV検査は高率で偽陽性であることから、数ヶ月間陽性ドナーが献血を続けることを1990年2月に許可していた。
15	C型肝炎	ProMed, 20040331-0040 (Reuters Health online 03/29)	韓国籍従事者が献血者情報の処理を誤り、肝炎ウイルスキャリアーからの供血液を輸血用として使用し、9人が感染した。
16	E型肝炎	Clinical Journal of Hepatology, 2004, 12(1), 13-15	アカゲザルにHEV血症の血漿を注射したところ、急性肝炎を発症し、HEVの複製が確認された。HEVの血液感染により急性E型肝炎が発症することが確認された。
17	E型肝炎	Emerging Infectious Diseases, 10(5), 953-955, 2004	英国のHEV患者から分離されたHEV株のヌクレオチドの配列と、英国の養豚一説で認められたHEV株および日本の豚肉から検出されたHEV株のヌクレオチド配列と同一性が高かった。
18	E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相関性を示した。

番号	感染症	出典	概要
19	E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73, 38-44, 2004	1996年インドネシア(バリ、ロンボク、スラバヤ)で健康人の血清中におけるHEVに対するIgG抗体保有率を調べた(各20%,4%,0.5%)。ブタを食べる習慣のあるバリ島におけるブタの72%がHEV抗体を保有し、日本などの他の地域と類似性の低い遺伝子型であった。
20	E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
21	E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O、2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。
22	HIV	aaBB Weekly Report, 2004, 10(1), 1-2, 2004/1/2	日本で献血者のNATスクリーニング実施を始めて以来、第1例目の輸血後HIV感染が報告された。(前回報告済み)
23	HIV	CDC MMWR, 53(32); 731-734	米国南部の非都市部では、男性間で性関係を結ぶ若年層の黒人のHIV感染率が、同年代の白人男性全体の感染率を上回っている。
24	HIV	UNAIDS, 2004 Report on the global AIDS epidemic, 2004/07/06	HIV感染は2003年に480万人が感染した。特にアフリカでの新規感染が6割を占める。HIV感染の現状と対応案など。
25	HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4616, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHivp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
26	HIV	New Scientist, 2004/08/09	HIV様ウイルスの新種株が野生動物に感染循環しており、その肉を食べるヒトに感染伝播していることが示唆される。
27	HIV	Transfusion, 2004, 44(6), 929-933	米国における、ミニプールNAT実施後2例目のウインドウ期間中の献血者からのHIV伝播の報告。18歳のドナーから2人に感染した。
28	HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人供血者の血液は、HIV-NAT(HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
29	HIV	Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177	抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検地できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検地することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。
30	HIV	オーストラリア連邦官報, GN 16, 2004/04/21	全血及び血液成分を採取・製造にあたって、HIV-1及びHCVがNAT陰性であること、Council of Europeのガイドライン第9版(2003.Jan)を遵守することが要求されている。
31	HIV	India AP, 2004/06/11	過去3年で30人の小児が輸血によりHIVに感染したため、インド当局が血液バンクのモニタリングを始めた。
32	HIV	SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/14, Apr. 6 2004	静注薬物乱用者及び生来のスコットランド人におけるHIV伝播は比較的まれである。
33	HIV、C型肝炎	The New England Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
34	アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。(前回報告済み)
35	咽頭結膜熱	国立感染症研究所、感染症週報.2004年第22週	咽頭結膜熱の一定点あたりの報告数は0.56であり、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。
36	咽頭結膜熱	国立感染症研究所、感染症週報.2004年第27週	咽頭結膜熱の一定点あたりの報告数は第27週に最高値0.95件/定点を記録した。
37	インフルエンザ	Archives of Virology, 2004, 149, 1415-1422	インフルエンザA(H1N2)ウイルスが韓国におけるブタの呼吸器疾患の大発生時に分離された。遺伝子はヒト、ブタ及びトリ由来であった。

番号	感染症	出典	概要
38	インフルエンザ	CDC, Travelers' Health, 2004/07/14	2004年6月末から7月にかけてアジアで家禽へのH5N1型鳥インフルエンザが再流行しているが、ヒトの感染は報告されていない。
39	インフルエンザ	Herald Tribune, 2004/08/21	中国で発表されたブタでのH5N2型感染に対するコメント。
40	インフルエンザ	Journal of Virology, 2004, 78(16), 8609-8614	H9N2型ウイルスは、マウス・ニワトリ・ブタで複製可能であり、遺伝的・生物学的に多様化し、大流行へとつながることが示唆される。
41	インフルエンザ	Nature, 2004, 430, 209-213	1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。
42	インフルエンザ	OIE	日本(山口)において高病原性トリインフルエンザの発生が確認された。
43	インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/08/23	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
44	インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
45	インフルエンザ	PNAS, 2004, 101(28), 10452-10457	1999年～2002年に分離したウイルスによる実験により、21検体のH5N1型株が中国南部の健康なアヒルから検出された。中国大陸においてアヒルの間でH5N1型が流行していることを示唆する。
46	インフルエンザ	Population and Public Health Branch, FluWhatch, weeks 33-	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
47	インフルエンザ	ProMED, 20040421-0070 (New York Times Online)	アメリカのニューヨーク州でヒトでのトリインフルエンザA(H7N2)ウイルス感染が確認された。患者は回復し、週週間で退院した。感染ルートは不明である。
48	インフルエンザ	ProMED, 20040709-0070 (WHO/CSR Disease Outbreaks news, 2004/07/08, Nature 2004, 430, 209-213)	H5N1型従来考えられていたよりも広範囲に拡大し風土病化しており、根絶がより困難であることが示唆されるため、長期にわたる対策が必要である。
49	インフルエンザ	ProMED, 20040818-0010 (Reuters News)	香港の研究グループが2001-2003年に行った研究で、鶏の約2%にトリインフルエンザH9N2型ウイルスを確認した。
50	インフルエンザ	ProMED, 20040821-0070 (Bloomberg.com 2004/08/20, Yahoo News 2004/08/20)	中国当局が始めてトリインフルエンザA型(H5N1)をブタで発見した。それに対するWHOとFAOからのコメント。
51	インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002～2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
52	インフルエンザ	ProMED, 20040822-0080 (VOV news, Yahoo news, My way)	ベトナム、マレーシア、タイ、中国における鳥インフルエンザの対応について。
53	インフルエンザ	ProMED, 20040824-0020 (PNAS 101(28) 10452-10457, Channelnewsasia.com 2004/08/23)	中国の研究者が発表した論文に対し、中国の農業省は、ブタで鳥インフルエンザウイルスが確認されたとする報道を否定した。
54	インフルエンザ	ProMED, 20040825-0010, (The Kansas City Star, China Daily)	農業省は110万個体の家禽及び豚について、病原体及び血清監査を実施した。トリインフルエンザウイルスに感染した豚は確認されなかった。

番号	感染症	出典	概要
55	インフルエンザ	ProMED, 20040825-0080 (Channelnewsasia 2004/08/24)	中国当局は、鳥インフルエンザウイルスの致死性株がブタで確認されているが、流行とはなっていないと発現した。
56	インフルエンザ	ProMED, 20040827-0020 (CIDRAP News, WHO)	H5N1型鳥インフルエンザのブタへの感染は、中国語論文にのみ公表されていた。ヒト及びトリインフルエンザウイルスの一部がブタに適應し、ブタ集団中で感染が蔓延し始める可能性がある。
57	インフルエンザ	ProMED-mail 1/8, 2004 (The Australian 1/8, 2004)	ベトナムで小児12名が原因不明の呼吸器疾患に罹患、7名が入院中に死亡した。保健当局はその病因からSARSを除外、インフルエンザA型ウイルスであることを示唆した。
58	インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(34), 2004/08/24	ベトナムのH5N1の流行に関する調査の経過と、中国のH5N1型鳥インフルエンザについては詳細なデータが得られた時点でWHO,FAO,OIEが評価する。WHOは情報が少ないので評価が難しいため、H5N1を経験した国にさらなる研究を求めている。
59	インフルエンザ	Texas Animal Health commission, news release, 2004/05/28	アメリカのテキサス州の養鶏場で約2,4000羽の鶏が処分された。定期血液検査でトリインフルエンザH7N3が検出された。
60	インフルエンザ	The Lancet, 2004, 363(9409), 587-593, 2004/02/21	オランダの養鶏場でトリインフルエンザA型(H7N7)が流行し、調査の結果、ヒトへの感染も認められ、予想以上に家禽を扱う人に感染していた。ヒト-ヒト感染も見られた。
61	インフルエンザ	The New England Journal of Medicine, 2004, 350(12), 1179-1188	ベトナムのトリインフルエンザ患者10症例の臨床所見等について。家禽類から感染したと考えられ、ヒト間の感染についての知見は得られていないが、可能性がある。
62	インフルエンザ	Virology, 2003, 310(1), 8-15	H1~15のインフルエンザA型ウイルスがウズラで複製されるか実験した結果、H15以外の14種類のサブタイプのウイルスが複製された。ウズラがトリインフルエンザウイルス媒介の中間宿主として働く可能性を示した。
63	インフルエンザ	Weekly epidemiological record, 2004, 79(32), 291-292	東南アジア地域で再び、高病原性トリインフルエンザA型(H5N1)がトリで流行した。H5N1は風土病になってきている。FAO、OIE、WHOが協力してネットワークを作ることになった。
64	インフルエンザ	WHO HP, 2004/01/15	トリインフルエンザのH5N2型とH7N1型は低病原性から高病原性へ変異したこと、変異はブタの体内で起こりやすいこと、H5N1株は急速に変異すること等。
65	インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record, 79(7), 2004, 65-70	高病原性鳥インフルエンザの流行がアジアの8ヶ国において報告されている。ベトナムとタイの2カ国で報告されたH5N型の1ヒトへの感染を中心に、検証した。さらなる病原体の知見が必要である
66	インフルエンザ	WHO WPRO/Public Press Release 1/13, 2004	WHOはベトナム・ハノイ地域で発生した3例の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)の診断検査の確定を得た。ベトナムでは合計14例の重症呼吸器疾患患者が検知、うち小児患者11例と成人患者1例の合計12例が死亡したが、今のところ、これらの全てが高病原性鳥インフルエンザである証拠はない。
67	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/18	2004年8月にベトナムで起きた鳥インフルエンザによるヒトの死亡例3例のうち、2例がH5N1型であることが確定された。
68	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
69	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/25	中国の研究者が中国のいくつかの地域における農場のブタが、トリインフルエンザH5N1株に感染したと発表した。中国の農業省は、この研究者の発見を確認した。
70	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
71	インフルエンザ	WHO/CSR/disease/2004 1/29	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ患者確定症例。
72	インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_04_05	カナダでトリインフルエンザA型(H7N3)によるヒトへの初めての感染が確認された。
73	インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_08_12	ベトナムで2004年2月以来初めてのトリインフルエンザが発生し、死亡者が発生した。

番号	感染症	出典	概要
74	インフルエンザ	www.nature.com/news, /2004, 040628-13	1999～2002年の間に分離したH5N1株21検体を用いた動物実験では、2001年と2002年のウイルスはそれ以前の年に分離されたウイルスよりも、病原性が高い。
75	インフルエンザ	海外感染症情報, 2004, 6(34)	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
76	インフルエンザ	農林水産省HPプレスリリース, 2004/01/12,	2004年1月に山口県で起きたトリのH5亜型A型インフルエンザウイルス感染事例について。
77	ウイルス感染	Archives of Virology, supplement18, 97-111	オーストラリアとマレーシアでこの8年の間に起きた脳炎惹起性の人畜共通感染ウイルス3種(ヘンドラウイルス、オーストラリアコウモリリッサウイルス、ニパウイルス)について、今後も注視する必要がある。
78	ウイルス感染	Blood, 2004, 105(5), 1534-1541	合成ソラレン誘導体アモトサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板輸血間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。
79	ウイルス感染	Department for Environment Food and Runal Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。
80	ウイルス感染	Journal of Virology, 2001, 75(8), 3605-3612	ALV-Eの感染性等について、内因性ALV-プロウイルス(ev loci)の調査を行った結果、5つのev lociが見出され、2つの非欠損性ev lociからは感染性ALV-Eを発現していた。ウズラ細胞へ感染することも確認された。
81	ウイルス感染	Journal of Virology, 2003, 77(2), 1105-1111	黄熱病ワクチン3製品について調査を行ったところ、RT-PCR法によりALV-EとEAVのRNAが検出された。
82	ウイルス感染	Virus Research, 2004, 100(2), 223-228	日本の小児における調査で、SENV-D,SENV-Hとも急性あるいは慢性肝炎には関与しなかったが、SENV-Dは劇症肝炎の危険因子になり得ることが示唆された。
83	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 40, 2003, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
84	ウイルス感染	感染症誌, 2004, vol78(2), 129-137	広島県の小児の急性呼吸器感染症の患者377名のうち77名がhuman metapneumovirus (hMPV)陽性で、2つの遺伝子型に区別された。
85	ウイルス感染	日本小児科学会雑誌, 108(3)390-394,2004	2002年1～2月に急性呼吸器感染症と診断された患者835件の検体から、PCR法でhMPV(human metapneumovirus)の遺伝子を検出した。
86	ウイルス感染 (アルボウイルス)	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。
87	ウイルス感染 (アルボウイルス)	Vietnamnews HP, 2004/07/08	ベトナムで小児に急性脳症を起こすアルボウイルスの一種を新たに発見した。
88	ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。
89	ウエストナイルウイルス	aaBB the Executive Perspective, 2004.3	2003年7月からWNV-NAT検査を400万人の供血者に対して実施し、1000人のWNV陽性供血者を検出した。
90	ウエストナイルウイルス	AABB Weekly Report, 2004, 10(26), 12	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)ヘリスク期間(6月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を行っていたが、献血血液のWNV検査を導入し、これを撤廃した。
91	ウエストナイルウイルス	AABB Weekly Report, Apr. 7 2004	米国の輸血関連WNV感染事例は6例で、WNV検査で検出されなかった供血者の献血血液によるものだった。
92	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter, 2004/1/30	アイルランド輸血サービスは、WNV感染に対する予防策として、米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。(前回報告済み)

番号	感染症	出典	概要
93	ウエストナイルウイルス	CDC MMWR, 53(13); 281-284, 2004/04/09	輸血後WNV感染が認められたことについて。WNV感染者の80%は無症候であり、低濃度の場合にはNATスクリーニングをすり抜ける可能性がある。 (前回報告済み)
94	ウエストナイルウイルス	CDC MMWR, 53(32); 738-739, 2004.08.20	ジョージア州でWNVに感染した患者2名は同じ透析機を用いており、同じ透析機を使用した患者はもう一人いることが分かったが、この患者は検査結果は疑わしかったがWNVと確定できなかった。
95	ウエストナイルウイルス	CDC MMWR, 53(33); 770-771, 2004.08.27	2004年は、8月24日までに32州から843例のWNV感染者がCDCに報告された。
96	ウエストナイルウイルス	CDC MMWR, 53(35); 823-824, 2004.09.10	2004年米国WNVの現状について。今までに、米国37州、計1,191名のWNV症例のうち、死者は30名である。
97	ウエストナイルウイルス	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
98	ウエストナイルウイルス	CDC MMWR, 9/26, 2003/52(38): 916-9	2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年9月時点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。
99	ウエストナイルウイルス	CDC WNV (2004 WNV Viremic Blood Donor Activity in the United States)	供血時には無症候であったが、その後のスクリーニングテストで陽性を示したウエストナイルウイルスの疑いのある血液ドナー141例が、CDC ArboNETに報告されている。
100	ウエストナイルウイルス	ProMED, 20040520-0060 (Prork Magagine 05/18)	若いブタほどWNV感染性が高く、加齢につれて感受性が低くなる。
101	ウエストナイルウイルス	ProMed, 20040409-0050 (The Sacramento Bee 04/03, MMWR 04/09)	献血血液でのWNVサーベイランスと輸血に関係した感染伝播について。
102	ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
103	ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。
104	ウエストナイルウイルス	FDA/Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
105	ウエストナイルウイルス	Vox Sanguinis, 2004, 87, 10-18	カプリル酸処理及び低pHインキュベーションの過程で、WNV、ワクシニアウイルス、WNVモデルウイルス、牛ウイルス性下痢ウイルスを不活化できる。
106	牛痘	CDC/MMWR, 53(05); 103-105, Apr. 9 2004	2002年1月～2004年までに予防接種を受けた軍人のうち30例において家庭内での接触感染が疑われる二次、三次感染があった。ワクシニアウイルスは接種部位の皮膚に存在するため、自家接種、接触感染伝播しうる。 (前回報告済み)
107	牛痘	ProMed, 20040213-0010 (CDC/MMWR, 53(5), 103-105, 2004)	2002年1月～2004年までに予防接種を受けた軍人のうち30例において家庭内での接触感染が疑われる二次、三次感染があった。ワクシニアウイルスは接種部位の皮膚に存在するため、自家接種、接触感染伝播しうる。授乳中の皮膚と皮膚、もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通しての母親から新生児へのワクシニアウイルス伝播の初めての症例。
108	牛痘	ProMed, 20040213-0030 (Reuters Health, 02/10, JAMA2004, 291; 725-727, 11Feb. 2004)	母乳栄養児が天然痘ワクチンウイルスに暴露された。米国軍人の父親から母親へ、母親から乳児へ三次感染した。
109	牛痘	NIID/IDSC/IASR, 25(3); 82, Mar. 2004 (CDC/MMWR, 53(5), 103-105, 2004)	2002年1月～2004年までに予防接種を受けた軍人のうち30例において家庭内での接触感染が疑われる二次、三次感染があった。ワクシニアウイルスは接種部位の皮膚に存在するため、自家接種、接触感染伝播しうる。授乳中の皮膚と皮膚、もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通しての母親から新生児へのワクシニアウイルス伝播の初めての症例。

番号	感染症	出典	概要
110	牛痘	PPHB Infectious Diseases news Brief, Feb. 13 2004 (JAMA2004, 291; 725-727, 11Feb. 2004)	母乳栄養児が天然痘ワクチンウイルスに暴露された。米国軍人の父親から母親へ、母親から乳児へ三次感染した。授乳中の皮膚と皮膚、もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通しての母親から新生児へのワクシニアウイルス伝播の初めての症例。
111	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。
112	狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。
113	狂犬病	ProMED, 20040414-0060 (Regions.Ru, 2004/04/10)	ロシアStavropol地域で動物の狂犬病症例46例があった。2003年と比べて倍増している。
114	クラミジア、淋疾、梅毒	PPHB Infectious Diseases news Brief, Jun. 18 2004	カナダ国内の感染性梅毒率は1977年のほぼ3倍で、そう報告数の80%は男性である。
115	クラミジア	Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078	調査施設で募った健常人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミジア抗原陽性反応を確認した。
116	クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004. 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
117	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 10(23), 04/06/18	日本及び米国の科学者らが狂牛病の原因となるプリオンタンパクを胎仔から除去する遺伝子組み換え操作を行った。ウシは医薬品の開発に使用される予定である。
118	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 10(24), 04/06/25	英国でv CJDに感染したフロリダの女性が死亡した。米国での初めての死亡例。
119	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 10(25), 04/07/02	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。
120	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 10(25), 04/07/02	米国農務省が結論の出していないBSE検査を追跡調査し、1例は偽陽性でもう1例は確定検査待ちである。
121	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 10(26), 04/07/16	米国農務省によると、中枢神経系症状のために処分されたウシ680頭のうち518等がBSE検査を受けていなかった。
122	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 2004: 10(21), 3	ヒト血液中の異常プリオンタンパクを検出できる検査法を開発したと、研究者が発表した。
123	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, Feb. 13 2004	2月7日にLancetに発表された2つの研究によると、vCJDは血液伝播の可能性がある。
124	クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
125	クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。
126	クロイツフェルト・ヤコブ病	Afssaps/communique de press 2004/2/1	輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。
127	クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News UK edition, 2004/07/15	英国で虫垂及び扁桃を検査したところ12,674件体中3検体がvCJDの兆候を示した。数千名がvCJDキャリアである可能性を指摘した。Journal of Phthologyの論文を引用した報道。
128	クロイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals, 2004,32(1),1-10	アルブミンや免疫グロブリン製剤の製造工程でのTSE因子除去のため、ナノ濾過の効果について検討した結果、有効であると確認された。

番号	感染症	出典	概要
129	クロイツフェルト・ヤコブ病	BioMetals, 2004, 17, 353-356	牛乳及び乳製品のBSE感染リスクを評価したところ、無視できる程度である。
130	クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal, 2004, 329, 251	vCJDの発症前に供血していたドナーから輸血を受けた患者は、死亡後の解剖所見で脾臓にプリオン病変が確認された。
131	クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal, 2004; 328(7432): 118-119	2003年12月に世界で初めて輸血によるvCJDの感染の可能性のある症例が英国で報告されたことから、今後の感染リスクを最小限にとどめるための対策の提言。
132	クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	羽毛分解酵素セラチナーゼPWD-1がプリオン分解能を有する。
133	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC HP 2004/1/9	米国で1例目のBSE感染牛が発見された。当該ウシはカナダから輸入されたウシであるとの調査報告
134	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC Infectious Diseases Testimony, 2004.2.24	CWDと米国のvCJD患者との因果関係は認められなかったが、ヒトプリオンタンパク質がCWD関連プリオンによって病原性プリオンタンパク質に変換されたという研究報告もある。米国におけるCWDは現在は地域が限定されているが、汚染地域が広がるのが懸念されている。
135	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC Infectious Diseases, 2004,02,24	CDCのこれまでの調査では、CWDとヒトとの因果関係を示唆する明確な証拠は確認されていないが、ヒトにCWD原因プリオンの感染伝播が起こりうる可能性がある。
136	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 53(53); 1280-1285, 2004	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
137	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(12), 04/03/18	英国保健省は1980年以降に輸血を受けた人は献血できなくなる措置を2004年5月から施行する。
138	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。
139	クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press release notices, 2004/0104,	英国保健大臣はvCJDのリスクの可能性に対するさらなる予防措置として、輸血歴のあるヒトを供血資格者から除外すると発表した。
140	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMBO reports, 2003, 4(5), 530-533	スクレイパーを経口接種したマウスの筋肉(前足、後足、頭、背中、肩の骨格筋、舌)にPrP <sup>sc</sup> に一樣に蓄積が確認された。
141	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMEA/CPMP/BWP/2879/02/rev1, June 23 2004	2004年1月の会議結果を反映させた、CPMP Position statement on Creutzfeldt-Jakob Disease and Plasma-Derived and Urine-Derived Medicinal Products (2003年2月通知)の修正版。
142	クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
143	クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 1003-1006	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
144	クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly, 2004, 8(20), 2004/05/13	2004年の第一四半期において、英国で報告されたvCJDによる死亡は1例のみだった。
145	クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance, Surveillance Report, 2004/05/13	vCJD発生率の解析で、1994年以来の死亡患者発生率はすでに極期に達し、現在は減少しているということが示されている。
146	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA Immediate Release Statement, 04/05/04	中枢神経症状を呈した牛がBSE検査を受けないまま試料となっていることについてFDAの見解。ブタの飼料であれば問題なく、今後家畜飼料法を改善する方向である。
147	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA News release	米国農務省USDAと保険社会福祉省HHSはBSEに関する安全強化対策を発表した。



番号	感染症	出典	概要
148	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA TSE諮問委員会, 2004/02/12-13, topic3	FDAは医薬品におけるBSEリスクの低減に向けた取り組みとして、品質保証済みの牛に由来する原料を用いる等の追加対策を討論した。
149	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA TSE諮問委員会, 2004/02/12-13, topic4	血液製剤中のTSEの感染リスク低減に向けて、FDAはBSE発生地域への滞在歴に基づくハイリスクドナーからの供血延期措置等の対策を講じている。
150	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/CFSAN FACT sheet, News Release, 2004/07/09	FDAは従来BSE発生国以外の原産国由来の反芻動物肉骨粉のブタ飼料への使用を認めていたが(FDA statement, 2004/05/04)、7月に新たに反芻動物由来特定危険部位を全ての動物飼料として使用することを禁止する規制が提案された。
151	クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイピーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
152	クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD,vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
153	クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSepriionによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD, BSEに対する使用が承認されている。
154	クロイツフェルト・ヤコブ病	HHS, FDA/ 79th meeting of Blood Products Advisory Committee.	英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給呈し政策を変更する必要はないとしている。
155	クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
156	クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 84, 1021-1031	BSEのブタに対する感染性について調査するため、異常プリオンの頭蓋内・静脈内・腹腔内の同時、及び経口摂取の実験を行った結果、ブタにもBSE感受性があることが確認されたが、経口投与では感染されない
157	クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
158	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology, 2003(2) 757-763	スイスの2001,2002年のCJD症例率は、過去の約2倍の2.6人/100万人であった。増加の理由については種々の可能性があるが不明である。患者数の疫学的データが必要である。
159	クロイツフェルト・ヤコブ病	Microsens news press release, 204/05/26	Microsens Biotechnologies社により、動物及びヒトの血液中の異常プリオンを高い特異性及び選択性で検出できるCJD検査が開発された。
160	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Science Foundation, 2004/05/12	CDWの病因に感染した動物の屍骸や排泄物で汚染された環境を介して、CWDが伝播される可能性がある。(Emerging Infectious Diseaseの5月の掲載記事について)
161	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine, 2004, 10(6), 591-593	フランスの研究グループによると、スクレイピーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。
162	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine, 2004, 10, 501-503	自然状態で感染したヒツジは、臨床的疾患を発症する数ヶ月前から筋肉にPrPscが検出された。感染性は脳と比べて5000分の1である。
163	クロイツフェルト・ヤコブ病	NIID/IDSC/IASR, 25(2); 46, Feb. 2004 (CDR Weekly, 13(51), 2003)	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
164	クロイツフェルト・ヤコブ病	PANAS 101, 3065-3070, 2004	イタリアで脳にアミロイド斑を伴い、脳内PrPsc蓄積の場所が異なるという病理所見を示すBSEを発見した。分子構造はsCJDのサブタイプに見られるPrPscと似ている。